角田市総合教育会議　会議要旨

会　議　名	令和７年度 第２回角田市総合教育会議
開 催 場 所	角田市役所 第２委員会室
開 催 日 時	令和７年１０月２２日（水）午前１１時００分～正午
出　席　者	１３名（別紙 出席者名簿のとおり）
事　務　局	総務部企画デジタル課

（次　　第）

１．開　会

２．開会あいさつ（市長）

３．協　議

（１）新中学校建設用地の適地選定について(中間案)

４．その他

５．閉会あいさつ（教育長）

６．閉　会

（会議要旨）

３　協　議

（１）新中学校建設用地の適地選定について(中間案)

説明者：齋藤教育次長

説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。（説明要旨省略）

協議要旨

・土地を購入する際に、少し不安を感じる。旧角田女子高等学校跡地の決定は、当然であると思うが、万が一購入できなかった場合に、残りの２つの候補地から再度検討するのはどうかと思う。

→県には、２回ほどお話させていただいている。改めて確認が必要ではあるが、これまでのニュアンス的には、譲っていただけるのではないかと思う。

・丁寧な議論が行われていると思う。１つ懸念点として、角田中学校の土地をどうするのかが挙げられる。角田中学校跡地を角田高等学校に譲ることは可能か。無駄のない土地活用ができればよい。

→現在、角田高等学校の生徒数が減少している状況下での敷地の増設は、難しいのではないか。

・統合に向けて課題はあるが、子どもたちが安心・安全に学べる環境づくりが大切である。

→通学の安全面については、まちづくりの課題でもある。旧角田女子高等学校跡地で決定した場合、スクールゾーンの整備が必要となる。

・保護者の関心は、教育に向いていると感じる。角田市は、小学校・中学校・高校が隣接していることもあり、様々な部分で協力をいただいている。また、旧角田女子高等学校跡地は、敷地面積が広く自由度が高い点が良いと思う。

→敷地面積が広いことは良いことである。メリットとして受け止め活用していきたい。

・旧角田女子高等学校跡地という最適な場所を選定していただいた。様々な可能性やアイデアを生かすことができるのではないか。子どもたちや先生方が、安全に快適に明るく過ごすことのできる適地であると考える。環境が子どもたちを育てることから、素晴らしい学校を作っていきたいと思う。
・未来を感じる角田市の一大事業である。今後も市民の皆様に参加いただきながら、議論していきたい。

令和７年度 第２回角田市総合教育会議出席者名簿

○会議構成員（６名出席）

市長	黒須　貫
〔教育委員会〕	
教育長	永井　哲
教育委員会委員	毒島　弘美
教育委員会委員	大内　啓邦
教育委員会委員	平山　一恵
教育委員会委員	信濃　光男

○事務局関係（７名）

教育次長兼教育総務課長	齋藤　修
企画デジタル課長	木村　信幸
教育総務課課長補佐	目黒　知子
企画デジタル課課長補佐	大沼　寿宏
教育総務課総務係長	大野　悟
企画デジタル課企画調整係長	佐々木　愛子
企画デジタル課企画調整係主事	庄司　優梨

（敬称略・順不同）